関係各位

平成２７年４月
一般社団法人 環境不動産普及促進機構
(Re-Seed 機構)

第７回 Re-Seed セミナーのご案内（全３回）

～「シリーズＡ　我が国不動産市場の国際展開」～

平成２６年度の当機構主催セミナーにつきましては、多数のご参加を賜わり、誠にありがとうございました。平成２７年度につきましても、１シリーズ各３回の連続セミナーを計４シリーズ開催することを計画しております。

今回はシリーズの初回として

「シリーズＡ　我が国不動産市場の国際展開」

について、ご案内申し上げます。

日本の不動産市場は海外から高い関心が注がれ、海外からの投資（インバウンド）の影響がきわめて大きくなっています。海外の機関投資家は、不動産投資にも ESG（環境、社会、統治）への配慮を求める PRI（責任投資原則）を重視しているといいます。

また、アジア諸国の経済成長により、アジア主要都市の不動産が日本からの投資（アウトバウンド）対象として大きく魅力を増しています。

このように、日本の不動産関係者にとって海外の影響や役割はますます重要性を増しており、急激な不動産投資市場の国際化が日本にどのような利益とリスクをもたらすのか、冷静に見つめる必要があります。このシリーズでは、不動産投資の国際化に焦点を当て、国際的に行動している機関投資家の動向、日本の環境不動産への関心、アジア主要都市の不動産市場動向などについて、解説を試みます。

各回の内容及び講師を含むセミナーの概要は、別紙のとおりです。
皆様お誘い合わせの上奮ってご参加下さいますようお待ち申し上げております。

Re-Seed セミナーの特徴

いずれも各地の不動産業者・不動産オーナー様、地方自治体様等にお役立ていただける不動産市場の最新動向について情報を提供するものです。地域の金融機関や不動産関係の実務者様に聴講いただければ、不動産関連案件の発掘・促進にご活用いただけます。

また、このセミナーは、講師への質問、意見交換を行いやすい少人数形式で実施します。最新の不動産市場の動向について、講師とのやりとりを通じて知識と理解を深めていただくことが可能です。

別　紙

第７回 Re-Seed セミナー
「シリーズＡ　我が国不動産市場の国際展開」（全３回）開催概要

■ 主　催　　一般社団法人 環境不動産普及促進機構

■ 会　場　　東京都港区虎ノ門 1-16-4　アーバン虎ノ門ビル２F
一般社団法人 環境不動産普及促進機構 会議室（→ 地図）

■ 各回のテーマ・開催日時

	各回のテーマ	開催日	開催時間
A-1	海外投資家が見つめる我が国の不動産市場とアジアの不動産マーケット ～日本不動産研究所「国際不動産価格賃料指数」その他の調査から～	6月19日（金）	各回共通 １４時３０分　開場 １５時００分　開講 １７時００分　終了
A-2	環境不動産の国際的な普及に向けて ～「責任ある投資家」が主役となる建築物の環境性能向上～	7月3日（金）	
A-3	我が国不動産市場における国際化について ～国土交通省の取り組みと MIPIM Japan 開催報告～	7月17日（金）	

■ 参加費　　３万円（3 回分）（消費税を含む）（初回の６月１９日に、受付にてお支払いください）
※3 回シリーズを１単位として聴講を受付けいたします。

■ 定員　　２４名

■ 申込方法　　４月２７日（月）午前 9 時以降、メールでお申し込み下さい。
メール到着順で受講票を発行（メールで送信）させていただきます。

＜送付先アドレス＞　info@re-seed.or.jp

＜記載事項＞　件名欄に「セミナー申込」と記載の上、本文に「お名前」、「会社名」、「電話番号」、「メールアドレス」を記載して下さい。

■ 各回の内容

Ａ－１　海外投資家が見つめる我が国の不動産市場とアジアの不動産マーケット
～日本不動産研究所「国際不動産価格賃料指数」その他の調査から～

講　　師　一般財団法人 日本不動産研究所 国際部
次長　粕谷 孝治 氏
次長　福山 雄次 氏

講師略歴　・粕谷 孝治 氏

平成 7 年 4 月に一般財団法人日本不動産研究所に入所後､鑑定第 1 部(現:本社事業部)、盛岡支所、本社事業部等にて、鑑定評価業務やコンサルティング業務等の実績多数。
平成 25 年 4 月に特定事業部国際不動産評価チーム（現：国際部）にて、中華圏（中国・香港・台湾）における不動産の鑑定評価及びマーケット調査のほか、中華圏から日本への不動産投資（いわゆるインバウンド投資）に係るアドバイザリー業務をも担当し、平成 26 年 5 月の国際部発足とともに次長に就任。不動産鑑定士。

・福山 雄次 氏

平成 8 年 4 月に一般財団法人日本不動産研究所に入所後、西東京支所（現：本社事業部)、証券化プロジェクト室（現：証券化部)、J-REIT への出向、近畿支社、レジャー分野専門チームにて、コアアセットのほかゴルフ場、ホテルなどの鑑定評価業務やコンサルティング業務等の実績多数。
平成 24 年 11 月に特定事業部国際不動産評価チーム（現：国際部）にて、主に東南アジア各国における不動産の鑑定評価やマーケット調査を担当し、平成 26 年 5 月の国際部発足とともに次長に就任。
不動産鑑定士、一級建築士、米国不動産鑑定人（MAI)、英国王立チャータード・サーベイヤー協会会員（MRICS)。

講座概要　最近、海外ではアジア圏の富裕者による海外不動産投資が一種のブームとなっており、日本もその投資対象として存在感がますます大きくなってきています。アジア主要都市の不動産マーケット状況を解説するとともに、一般財団法人日本不動産研究所が年2回実施している国際不動産価格賃料指数を通じて日本の不動産価格がアジア主要都市と比較してどのようなポジションにあるのかをあわせて説明します。

Ａ－２　環境不動産の国際的な普及に向けて
～「責任ある投資家」が主役となる建築物の環境性能向上～

講　　師　三井住友信託銀行 不動産コンサルティング部
審議役 環境不動産推進チーム長　伊藤 雅人氏

講師略歴　昭和58年 早稲田大学法学部卒、住友信託銀行（現 三井住友信託銀行）入社。
平成17年 東京都不動産鑑定士協会十周年記念論文『不動産に関する「環境付加価値」の検討』にて、最優秀賞を受賞。
国土交通省環境不動産普及促進検討委員会委員、国連環境計画金融イニシアティブ不動産ワーキンググループ（UNEPFI PWG）メンバー等、数多くの委員会等に参画。
また、「マルチステークホルダーの動きから読むサステナブル不動産（共著・総合編集、ぎょうせい）」をはじめ、著書、新聞、専門雑誌への投稿等多数。
不動産鑑定士、再開発プランナー、不動産証券化協会認定マスターほか。

講座概要　UNEP FI（国連環境計画金融イニシアティブ）は不動産投資にも規制や誘導ではなく投資家としての責任投資原則（PRI)の必要性を唱え、世界的な企業、年金ファンドに続き、近時日本企業もPRIを採用する例が見られるようになりました。また、保有不動産の環境性能を公表する企業やJ-REITもふえ、海外からPRIに則った国内環境不動産投資を行う機会も拡大されつつあります。

このように、PRI と不動産の環境性能ラベリング制度は環境不動産を普及する上で車の両輪と言え、投資を安定的に取り込む上でいずれも積極的に進めていく必要があります。
本セミナーでは、PRI や環境性能ラベリング制度の現状と、今後の展望を解説します。

Ａ－３　我が国不動産市場における国際化について
～国土交通省の取り組みと MIPIM Japan 開催報告～

講　　師　　国土交通省土地・建設産業局国際課
課長補佐　越智 成基　氏

講師略歴　　東京大学工学系研究科修了。平成２６年８月より現職。国土交通省不動産業課にて、不動産業関連制度の整備等に従事し、現在は、建設・不動産業の国際展開支援等を担当している。

講座概要　　MIPIM JAPAN は、日本と世界のリーダーのための日本で初めての国際不動産フォーラムで、2015 年 5 月 20～21 日にはじめて東京で開催されます。（国土交通省後援）
本セミナーでは、世界の不動産・金融関係者が一同に介し開催された MIPIM　JAPAN について報告するとともに、政府が推し進める不動産市場の国際化に向けた施策（インバウンド ・アウトバウンド）の動向について解説します。

以　上